第6回　すくわくプログラム

～音楽演劇表現活動～　　2026.9.16











「すくわくプログラム」は、すべての乳幼児の「伸びる・育つ（すくすく）」と「好奇心・探究心（わくわく）」を応援する幼保共通のプログラムです。幼稚園や保育所といった施設類型の垣根を越え、主体的・協働的な探究活動を通じ、子供の豊かな心の育ちをサポートし、非認知能力の育ちにも繋がっていきます。



4月よりスタートした『すくわくプログラム』。今回は6回目でした。
今日はあさみ先生と一緒にフルート奏者のあやか先生が来てくれました。
初めて見るフルートに興味津々の子どもたちは、「これ知ってる？」と質問されると「知ってるよ！フルート！」と答える子もいれば、「しらな～い！」とどんなものなのか不思議そうにしている子もいました。
初めにフルートで1曲演奏をしてくれると、その迫力にびっくりしながらも自然と拍手をする子どもたち！
フルート演奏のあとには“ピッコロ”というフルートと同じく横笛のフルートよりも小さい楽器でみんなの大好きな『ピタゴラスイッチ』を演奏してくれました♪ピタゴラスイッチが流れると「ピタゴラスイッチだ～！」と大盛り上がり！ピッコロに合わせて歌を口ずさむ姿も見られましたよ(^^)
フルートで『幸せなら手をたたこう』を演奏してもらいながらそれに合わせてあさみ先生と一緒に体を動かす遊びのときには、「しあわせならどうしたい？」と聞かれると「なんにもしなーい！」と答えた子がいたことで、子どもたちの中でなんにもしないソングがブームに！夕方のお部屋にも「なんにもしな～い♪」が響き渡っていました…！(笑)
スイミーの絵本に合わせて場面ごとにフルートの音色が響くと、とても集中して見る姿があり、絵本の世界に自然と引き込まれていく子どもたちでした。